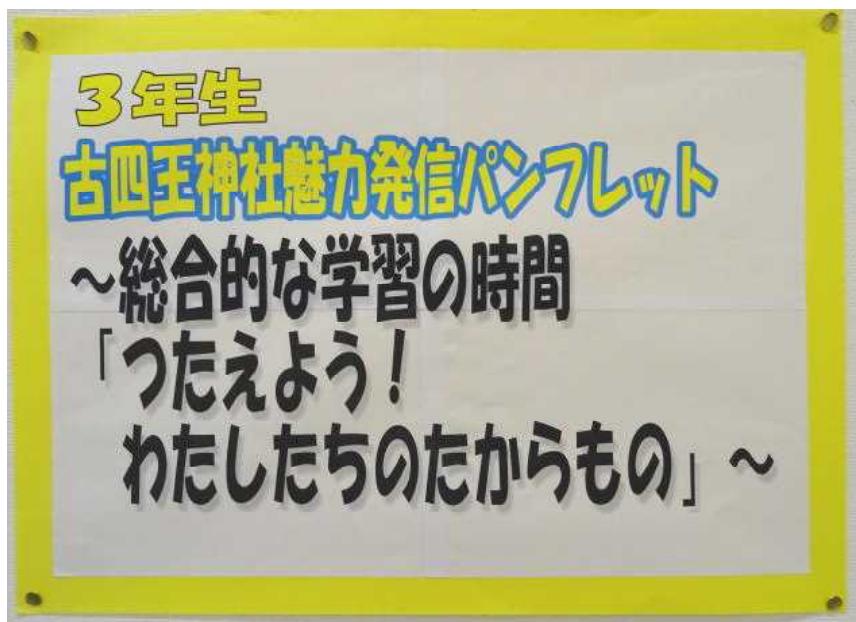


令和元年度 東大曲小 地域応援隊～古四王わくわく大作戦～「ふるさと古四王展」展示作品



おまつりにもぜひ
来てください。

9月8日 秋祭りです。
いろいろな地域の人々が集まり
ます。出店もあるので来て
ください。

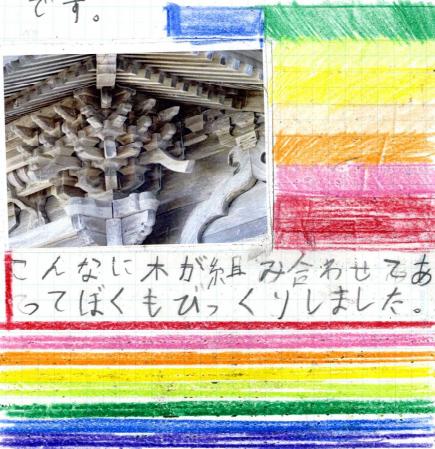
1月20日 火けしもを祭りも
あります。
今までのおもちが
けいじなので、ぜひ来て下さい



古四王神社
の
つくりはすごい！

釘を一本も使わず木材の組み合いで重い屋根をさえています！

屋根の下に使われて木材
の先は丸まっています。雲のよう
になってしまいます。それを木鼻と
いいます。木鼻が植物や動物
の形になつたものもあるそう
です。

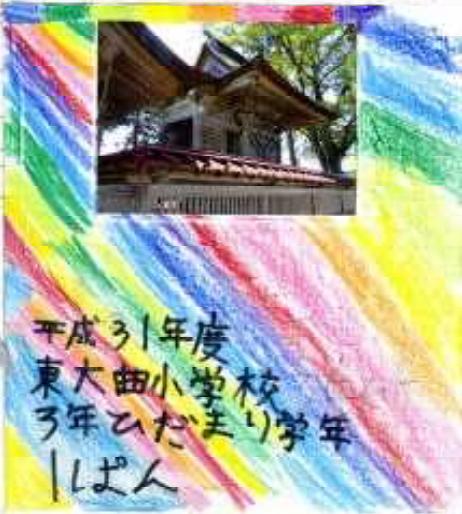


東大曲小学校のキャラクターは
どこからできたの?



ふしきかじゅはい

古四王神社の ひみつやづくり



国 宝

古四王神社は 國のお宝！

◇古四王神社は國のお宝です。
だから地域の人たちががんばって
お金を出し合って守っています。 ◇ ◇

古四王神社は「国指定重要文化財」に登録されています。

なのでこれからも、
古四王神社を大切にしていき
ましょう！

1931年(昭和6年) 国宝保存法下で国宝に指定

1950年(昭和25年)
文化財保護法下で
「重要文化財」に指定



上の絵は、宮殿の絵です。上
さうに絵には、戸が((△))
あります。屋根がべりっぽにつく
られています。たけじきよか
がない)と入れません。
本当(は)この写真の前に戸があ
ります。ナ
開口でいる
けじい?も
は閉めてい
ます。



古四王神社の ここがすごい！

その1 くぎをつかっていない。

木と木がつながりあって、おもいやねをささえているんだよ。

その2 和、とう、天の三つの國の様式がつかわれている。

和は、日本の作り
とうは、中国の作り
天は、インドの作り
が組み合あさって、すばらしい
今の古四王神社があります。



くぎを
つかわ
ないで
つくりて
います。

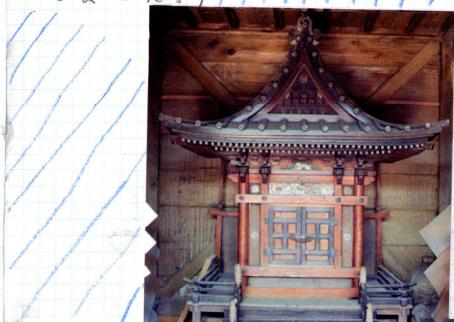
古四王神社 の みどころ

その1、かめのこうら

秋田市に同じ名前の古四王神社がある。てその秋田の古四王神社から海かめのコウラをもらったそうです。

その2、宮

古四王神社は、450年前にできたのにまだ色々のこっている（宮へ人は、ふだんは、見ることができません。）



国の宝
ぼくたちの宝

古四王神社



平成引年度
東大曲小学校3年ひとまり学年
21人

どんな歴史が あるの？

せんごく時代にたてられました。1570(天文29年)

一つでんせつも、のこされて
います。

一つ目は、782年に、ある一人の老人がやってきてそこにあた光りかかやく石をうちくだくと中からるりのくすりつぼがでてきて、それをまつたというものです。

二つ目は、白いひげをはやした品がいいろう人がおやすみになっていたそうです。あとにあって、そのひげのろうじんが、大彦命であたことが分かり、ほこらをつくりまつたのか、古四王神社のはじまりと言うものです。

国宝について

古四王神社は、国指定重要文化財にえらばれています。しかも秋田で1番さいしじにえらばれました。

1931年(昭和6年)に、国宝に指定。

1950年(昭和25年)に、重要文化財に指定。

今は地域のんがお金をだしてしまも、ています。お祭りでたくさんの人にも来てもらうため活動しています。



とてもれきしをかんじますね。

古四王神社の おまつり

9/8 例大祭
秋祭り

下駄とばし大会(けい品もあります。)

カラオケ大会

出店(わたあめ、やきとり、やきそばなど)

1/20 火消もち祭り

防火訓練

小正月行事(雪中田植、天籟焼餅つき)

多くのおすすめは、出店です。とくにおいしいのは、やきそばです。わたくしのおすすめは、下駄飛し大会です。

ぜひきてください。

古四王神社について

これには、古四王神社について書いてあります。

れきし・つくり・がんじゅうをつくりについて書いています。

ほくたちは、古四王神社の知っている人に聞いたり、本で調べたりしました。

ぼくたちがかいた、リーフレットを、どうぞ見てください。

くわしくは、中に書いてあります見てください。

今のが四王神社



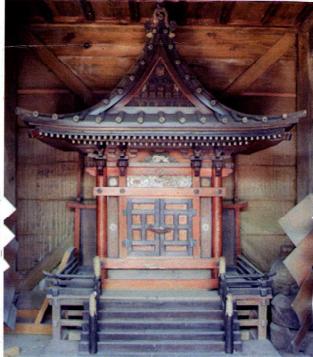
古四王神社には、(ぼくで人)や(かけもちまつり)というまつりがおこなわれています。

もうやって主もろかといふと、・国や県、市がまもる。
・地域の人があまもる。

*地域の人があお金を出しあって主もっています。

さゅうでん

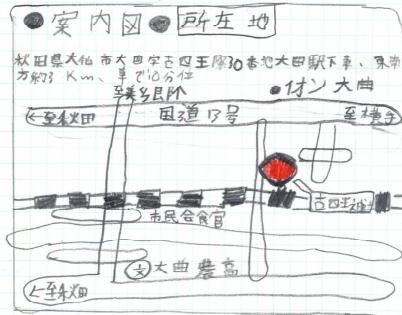
さゅうでんは古四王神社の中にあります。大きなかきの木から、伝せつの一につにもなっています。だから古四王神社にさつきをよくなものなんですね。ごしんたいが入っており、入り口からは入れない屋根の大きさとなっています。



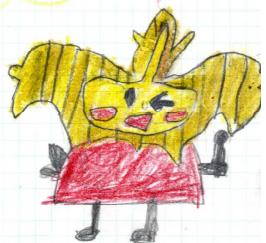
ぼくはこのしゃしんをみて、さゆうでんは赤色と黒色つかってて、そして門がまんなかにあってこの中にごしんたいが入っているのかと思いました。

かくそつ

伝説に出てくる石が今ものこ。ここにとてもおどろきました。古四王神社にはまだたくさんのがみつがりそうなのでもっと調べたいです。



かしきいっぽい
古四王神社の
ひみつ



東大曲小学校3年ひだまり学年
4はん

古四王社のつくり

古四王神社はくさを一本つかずして作られています。木と木でささえあっていますからです。

(木口・唐・天)

みつつのようしきがみられるんです。木口は日本いうて唐が中國いうて天が印度いうて古四王神社はつくれています。



こんなに木でささえあっているからじしんがさきても大じょうぶですね。

れきし

古四王神社は、今から40年前の里町時代にできました。じしんがさきでもたわれないりきり。300年から150年のうちでできました。

秋田市に古四王神社という名前の神社ある。そこから海がめのこうもりももさう。大きさです。古四王神社は、1950年の頃から20年にじゅうよう文化財にえらばれました。

和(日本)唐(中国)天(インド)の特徴が見られ、たりへんれすらしいです。



伝説

古四王神社には、二つ伝説あります。

一つ目は、昔、この里の道にあった大きな石に、ある日、さざなみと輝く白い蛇を見た。見るからに年高い老人がみ体になっていたそうです。後にになって、その白蛇の老翁は、大彦(四道行軍の一人)であつたことがわかり。里の人たちがあざわらいことだと悪いことを言わされました。

二つ目は、東方から一人のうじじ人がやってきてそこにあった光り輝く不思議な石を打ち碎くと、中から瑠璃の葉臺が出土したので、これこそ古四王大権現のお出ましでした。草堂を見て祀つたといふもので古四王堂像といふ白い文書にあります。



おじいさんの手わざ
大石のし
わしん